

家庭数で配布します。

学校だより

八幡台小学校

NO.486

令和元年 11月 30日

子どもへの寄り添いはコーチングの考え方で

和歌山市立八幡台小学校 志場 俊之

「子どもに勉強させる」とか「子どもを机に向かわせる」とか、家庭でも苦勞することが多い毎日ではないでしょうか。学校でも、あの手この手で子どもの興味・関心を引きつけながら悪戦苦闘している毎日です。

最近、「コーチング」という考え方を取り入れた取組が多く紹介されています。スポーツ選手へのコーチング以外にも、先生と子どもの関係や、親と子どもの関係でも同じことが言えます。

コーチングは「答えはその人の中にある」という原則のもと、相手が状況に応じて自ら考え、行動した実感から学ぶことを支援し、相手が本来持っている力や可能性を最大限に発揮できるようサポートする、やる気を引き出すためのコミュニケーション技術です。

先ほどの「勉強させる」「机に向かわせる」という言葉はよく使いますが、その言葉の根底には、大人が子どもを自分の思い通りにコントロールしようとする意図がうかがえます。

コーチングの視点から言うとこれはもう間違いになります。大人でもそうですが、自分の思い通りにコントロールしようとする人の言うことは、かえって素直に聞きにくくなるものです。「～させよう」と思えば思うほど、子どもは抵抗しますよね。

しかしながら、子どもは本来、本当にやりたいと思ったことは、言われなくても勝手にするものです。必要だと自分で思えたら、自分で勉強します。勉強が嫌いだった子どもが、目標や意義を見い出せた途端に勉強するようになるということもよくあります。

子どもはもともといろんなことに興味を持ち、いろんなことができるように取り組む「自ら学ぶ」心を持っています。

「～させる」というのは強制のスタンスであり、その強制のスタンスから、「子どもが～するように関わる」という信頼のスタンスに変化した時に、子どもは自ら学ぶようになるということです。そこがコーチングの考え方です。

「～させる」と「子どもが～するよう関わる」は、本当にわずかな違いですが、「勉強させよう」と思ってかける言葉と、「この子は自分で勉強する子だ」と思ってかける言葉とでは、子どもへの伝わり方やニュアンスが微妙に違ってきます。

子どもの身体だけを思い通りに動かそうとすることよりも、子どもの心が動くことに意識を向けるということでしょうか。北風と太陽のお話のように。

私たちも、常にそういう関わりができるように心がけたいものです。



12月のスケジュール



- 1日(日) 市P合唱祭
- 2日(月) 振替休業(土曜参観)
- 3日(火) 登校指導、下校指導、絵本読み聞かせ会(3年)
J-COM撮影(1年)
- 4日(水) 職員研修会のため14時30分下校、育友会企画委員会
読み聞かせ会(語りの森)大休憩
- 5日(木) なかよし3校交流会、給食費育友会費自動払込日①、育友会広報部会
- 6日(金) 諸費集金袋配布、音楽祭(6年)、キッズサポート教室(2, 5年)
わうくらす(3年)
- 7日(土) 学校体育バスケット中央大会、資源集団回収
- 9日(月) 諸費集金日、図書返却週間(~13日)
- 10日(火) 諸費集金日、給食費育友会費自動払込日②、
- 12日(木) 認知症サポート教室(5年)、育友会広報部会
- 13日(金) 登校指導
- 14日(土) 家庭科作品展(市民会館 15日も)
- 16日(月) ALT
- 17日(火) 下校指導、ALT
- 18日(水) ALT、図書貸出期間(20日まで)
- 19日(木) スクールカウンセラー来校(12日から変更)
- 23日(月) 給食終了、大掃除
- 24日(火) 終業式、6年生音楽発表会
11時40分下校
- 25日(水) ~1月5日(日) 冬休み



★1月の主な行事★

始業式	1月 6日(月)
	下校 11:40
自動払込日①	1月 6日(月)
給食開始	1月 7日(火)
自動払込日②	1月10日(金)
集金	1月14日(火)



子どもセンターおもちつき大会



子どもセンターハロウィンパーティ

十一月の行事



5年生 森林教室



6年生 修学旅行